

TIAニュース

やあ!

TIAトピックス

とちぎ多文化共生フォーラム
多文化共生実務者対応力向上研修会
日本語学習支援研修会・初心者コース
JICA 情報局
アジア学院とカゼトツチ



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。



▲多文化共生社会について講演したマヘス氏

▲さまざまな意見が出たパネルディスカッション(左から臼井氏、崔氏、マヘス氏、タナノン氏、ダイ氏、早乙女氏)

とちぎ多文化共生フォーラム

10月24日(土)、とちぎ国際交流センターで、「とちぎ多文化共生フォーラム」を開催しました。

まず基調講演では、栃木市で人材派遣会社「株式会社 SMS」を経営するルイテル マヘス氏(ネパール出身)が講師となり、「多文化共生社会を築くために必要なこと」をタイトルに、外国人住民が日本で生活する際に困っていること、多文化共生社会を築くために求められる日本人住民、外国人住民、行政、国際交流協会等のそれぞれの役割について話しました。

次にパネルディスカッション「きいて、おしえて、とちぎの生活」では、パネリストの5名、崔 英燕氏(中国出身/足利市国際交流協会相談員兼書記)、ルイテル マヘス氏、ラタナポン タナノン氏(タイ出身/NPO 法人デックタイグループ理事長)、グエン チョン ダイ氏(ベトナム出身/大福 DFC 株式会社代表取締役社長)、早乙女 エリザ氏(ブラジル出身/TIA 国際交流相談員)が、コーディネーターの臼井佳子氏(前 NPO 法人宇都宮市国際交流協会理事長)の進行で、「日本語」、「仕事」、「生活・慣習」、「子育て・教育」をテーマに話し合いました。

参加者は38名で、「外国人がどんなことに困っているのか分かった」「日本人も外国人も多文化共生社会の実現という目標を共有して、歩み寄りの姿勢を示す必要があると思った」などの感想がありました。このフォーラムはライブ配信も行われ、視聴者は200名を超えました。

※本フォーラムはコロナ感染対策のもと実施されました。

※下記のサイトで「とちぎ多文化共生フォーラム」の動画を配信中(2021年3月31日まで)

<http://tia21.or.jp/2971.html>



「とちぎ多文化共生フォーラム」(表紙参照)の開催に合わせ、県内の国際交流団体等が外国文化(パネル展示、物品の展示・販売)を紹介する「外国文化紹介ブース」、県内市町で作成した多文化共生に関するパンフレット等の資料を展示する「市町の多文化共生関係資料展示コーナー」、JICA コーナー、多言語相談コーナーを会場内に設け、約 200 名が来場しました。※コロナ感染対策として会場が密にならないように実施しました。



▲ベトナム紹介ブース



▲フィリピン紹介ブース



▲ブラジル紹介ブース



▲ネパール紹介ブース



▲スリランカ紹介ブース



▲インドネシア紹介ブース



▲インド紹介ブース



▲バングラデシュ、コンゴ、ガーナ紹介ブース



▲フランス紹介ブース



▲市町の多文化共生関係資料展示コーナー



▲JICA コーナー



▲多言語相談コーナー

【外国文化紹介ブース 出展団体(紹介国)】

- ①ベトナム料理 SEN (ベトナム)、②FURA (Filipino Utsunomiya Residence Association 2020) (フィリピン)、③栃木県海外移住家族会&うつのみやラチーノス (ブラジル)、④ネパール支援有志の会サンガサンガイ (ネパール)、⑤合同会社 SAGARA (スリランカ)、⑥栃木インドネシア手をつなぐ会 (インドネシア)、⑦特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会 (インド)、⑧国連認定 NGO 日亜文化交流協会 (JACE) (バングラデシュ、コンゴ、ガーナ)、⑨とちぎ・プロヴァンス協会 (フランス)

【市町の多文化共生関係資料展示コーナー 資料提供自治体】

宇都宮市、足利市、栃木市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、益子町



県内の国際理解・交流・協力等の団体が、とちぎ国際交流センターでセミナーを開催しました。今回は9月に実施したセミナーを紹介!! (参加者全員マスク着用、会場換気、参加者間の接触を最小限として実施しました)

9/5 自分で作れる!台湾ダンファン

World Cooking Club

代表の菅原美穂氏が講師となり、台湾の伝統菓子「ダンファン」(蛋黄酥)や豚肉のご飯「ルーロー飯」を作りました。



9/5 どうなってるの?世界と日本

JICA 筑波

JICA 栃木デスクの熊倉百合子が、開発途上国が抱える問題やSDGs(持続可能な開発目標)の内容を説明しました。



9/12 ブラジルの自然と文化

Sou Capoeira

講師はブラジル出身の野田サチオ氏。ブラジルの自然や食文化、また伝統芸能「カポエイラ」の動きや音楽を紹介しました。



9/12 ワールドクイズツアー2020!

シャプラニールとちぎ架け橋の会

参加者(小学生)がオリジナルのパスポートを持って会場内を巡りながら、12の「世界のクイズ」を解きました。



TIAトピックス TIA TOPICS

多文化共生実務者対応力向上研修会

9月3日(木)・4日(金) とちぎ国際交流センター

多文化共生を推進する市町、市町国際交流協会職員を対象とした研修会を開催し、13市町から2日間で43名の職員が出席しました。講師に、NPO法人多文化共生マネージャー



▲講師の田村太郎氏

全国協議会副代表理事の田村太郎氏を迎えました。「多文化共生の地域づくりと自治体施策」の講義では、多文化共生は地域の活性化や未来に必要なことと位置づけてほしいと話がありました。「災害時の外国人支援」では、外国人への配慮や支援者として期待される側面を紹介。また、TIA 災害時外国人キーパーソン

の長濱マリセル氏(フィリピン)と行本リジア氏(ブラジル)が、母国の災害との違い、日本での被災体験、今後の取組みに期待することなどを発表しました。このほか、TIAの早乙女ホンダエリザ相談員から外国人の主な相談事例の紹介、埼玉県越谷市市民活動支援課の森下雄介氏から多文化共生推進プラン策定の経緯や背景、工夫されている実施事業などをお話いただきました。最後に、参加者全員が地域でできる取組みを課題解決型アプローチとして考え、企画を発表しました。

「災害時の外国人支援」の回について、来年1月20日まで動画を配信中です。ぜひ視聴してください。

<http://tia21.or.jp/2759.html>

日本語学習支援研修会・初心者コース

10月31日(土)~11月21日(土) 全4回
とちぎ国際交流センター

地域の外国人住民等のために、日本語学習支援活動をこれから始めたい方や始めばかりの方を対象とした研修会を開催し、県内各地から25名が参加しました。

第1回目講師の東京大学大学院准教授の鎌田美千子氏から、日本語教室での支援は、「教える一教えられる」の関係を超えた対等な関係づくりが求められ、日本人にとっても学びの場となるよう話がありました。第2回~3回は、講師の国際医療福祉大学講師の牧原紀子氏から、学習者の



▲講師の鎌田氏(上)と牧原氏(下・右端)

ニーズ分析、具体的な支援方法を学び、最終回に向けて、模擬授業のための準備をグループに分かれて行いました。



▲外国人に対する模擬授業体験を行った

最終回では、外国人協力者を迎えて、実際の授業を体験しました。外国人協力者からは、さまざまな工夫のある授業で楽しかったと好評で、両講師からは、ぜひ支援活動始めてほしいと激励がありました。



おもてなし英語ボランティア

9月9日(水)～12月2日(水) 全10回
とちぎ国際交流センター

栃木県や日本の文化・美術・工芸を学び、英語で紹介できるようにするための「おもてなし」のための英語講座を実施し、17名が参加しました。

講師は通訳案内士の平野聖乃氏が務め、英語だけでなく様々な知識が学べる有意義な講座だったと大変好評でした。



▲楽しくお話をする講師の平野氏

外国人材活用促進セミナー・製造業部会

11月11日(水) 栃木県庁北別館

製造業の企業等を対象とした外国人材の受入れに関するセミナーを開催しました。講師に(公財)国際人材協力機構(JITCO)東京駐在事務所所長の岡村陽子氏を迎え、コロナ禍における雇用の影響や帰国や実習が困難な技能実習生に対する特例措置等について話していただきました。



▲熱心に聞く参加者の皆さん

外国人のための無料法律相談会

10月17日(土) とちぎ国際交流センター

栃木県弁護士会と関東弁護士会連合会との共催により、外国人住民向けの無料法律相談会を実施しました。

様々な国籍の外国人住民が労働や金銭、生活等に係る問題について弁護士に相談しました。

やさしい日本語出前講座

下記主催の研修会でTIA職員の田島亮子が講師を務め、「やさしい日本語」について紹介しました。



・下野市生涯学習情報センター

10月8日(木) 「やさしい日本語講習会」

・栃木県立足利南高等学校

11月2日(月)

「国際理解講演会」

・小山市役所

11月5日(木)

「職員向け

やさしい日本語活用講座」



▲小山市役所での活用講座

JICA 情報局

アジア学院とカゼトツチ ～協力隊員が栃木県内の団体で研修を実施～

今年3月、コロナ禍で一時帰国となった協力隊員12名は再派遣を待ちながら、各自、自己研鑽に励んでいます。今回、アジア学院(那須塩原市)、カゼトツチ(小山市)において、一時帰国隊員向けの技術補完研修が行われました。アジア学院での2週間は、農作業等で手と体を動かすとともに、サーバント・リーダーシップを学びました。また、カゼトツチでは、小山市内でフィールドワークを行い、町の課題を探り、本当のニーズを聞き出す学びを深めました。

隊員は、任国での活動を振り返るとともに、県内で活躍する団体の活動を通じ、国内の課題にも触れる良い機会となりました。

県内で活躍される団体の協力を得て、再派遣に向けさらに力を蓄えています。



▲アジア学院で研修した隊員

JICA 栃木デスクからのお知らせ

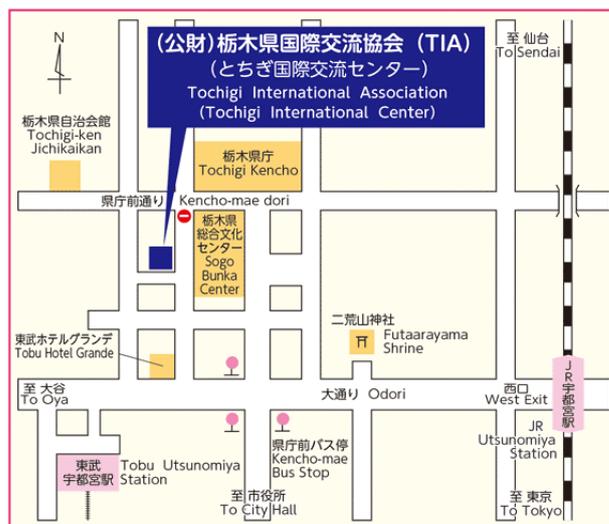
- ・JICA ボランティアの応募を検討の方
⇒現在募集は一時中止となっていますが、募集に関する相談は、随時受け付けています。
- ・JICA 筑波施設訪問(学校、市民団体等)も受付中
ご質問、お問い合わせはお気軽に、JICA 栃木デスクまで! (TEL 028-621-0777)

TIA で社会体験学習



▲セミナーの準備をする久保さん(左)と大久保さん(右)

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 2年の大久保友梨さん、久保楓子さんが11月17日から4日間、交流ラウンジの飾り付けやセミナー受付等の業務を体験したり、TIAスタッフと交流しました。



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)
業務時間 8:30～17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始
URL <http://tia21.or.jp> Email tia@tia21.or.jp